

成果報告書

地域部活動推進事業

担当部署	徳島県教育委員会学校教育課		
所在地	徳島県徳島市	運営形態	地域文化芸術団体等運営型
運営主体	徳島交響楽団ジュニアオーケストラ、NPO法人阿波農村舞台の会、徳島県合唱連盟		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ①派遣講師の確保 ②部員の減少などによる持続可能な部活動の在り方 ③技術的指導における顧問の大きい心理的負担 ④土日の活動場所となる学校施設の管理 ⑤土日を含む練習の顧問の大きな時間的制約 ⑥生徒指導面の配慮等、学校と指導者との緊密な連絡調整や情報共有が必要 ⑦講師謝金や会場費、楽器や道具の保守、修繕のための費用確保 		
事業目標	<p>○専門的指導者を持続可能な形で確保する体制を構築するとともに、生徒指導面にも配慮し、安心・安全に継続的な質の高い活動ができるよう支援する。</p> <p>○月数回程度(土、日、平日放課後)本事業を学校施設の音楽室等、あるいは校区内の公共施設で行い、教員の時間的負担の軽減(計画的な休日の確保)、精神的負担の軽減を図る。</p>		
団体・組織等の連携			
拠点校等	徳島市徳島中学校、徳島市川内中学校、徳島市応神中学校		
活動場所	学校施設の音楽室等、校区内の公共施設		
活動概要	<p>(オーケストラ部) 楽器の移動が大変なことから、学校施設の教室等を活動場所とし、月2回程度、2～3時間のパート練習や合奏の指導、他校との合同練習への引率などについて、市内で活動する「徳島交響楽団ジュニアオーケストラ」から講師の派遣を受ける。活動日程や指導内容についても団体が学校と連携を密にとりながらコーディネートを行う。</p> <p>(民芸部) 校区内にある阿波人形浄瑠璃の専門施設「県立阿波十郎兵衛屋敷」を土日の活動場所として、施設を管理運営するNPO法人が、これまでに蓄積した人的ネットワークや、資料、映像などを活用し、人形の基本的操作方法をはじめ、太夫・三味線体験、人形浄瑠璃の歴史学習など幅広い活動を行う。夏休みや発表に向けた期間を中心に、月1～2回、2時間程度実施し、特定非営利活動法人 阿波農村舞台の会が活動のコーディネート及び講師の派遣を行う。</p> <p>(音楽部) 月2回程度、2時間程度のパート練習や合唱の指導、また他校との合同練習への引率など、「徳島県合唱連盟」から講師の派遣を受ける。日程、指導の内容についても団体が学校との連携を密に図り、年間計画を作成し、活動のコーディネートを行う。</p>		

○本事業による成果

<顧問へのヒアリング>

- ・レッスンを終えると、生徒の顔つきが変わっている。専門性の高い、本物の音楽を知っているからこそ、生徒一人一人に応じた指導ができると思う。
- ・8月に合同音楽祭、9月に文化祭、10月にジュニア浄瑠璃フェスティバル等に向けて、様々な演目に挑戦している。校区内に活動施設があり、生徒は自転車で通えるので安全で便利である。
- ・専門性の高い講師に技術的指導を受けることにより、生徒は新しい練習方法を学び、吸収し、着実に力を伸ばした。県大会で金賞を受賞し、県代表として四国大会に出場できたことで、生徒は自信になっている。
- ・平日とは違う環境での活動ということで、生徒はより意欲的に取り組み、毎回の練習を楽しみにしている。
- ・様々な表現の仕方や技術の指導方法などを学ぶことができ、指揮に生かすことができた。また、相談ができ、音楽の方向性が同じであったので良かった。
- ・コンテストでの自発的で生き生きとした演奏は、審査員から絶賛された。
- ・経験豊富な講師のアドバイスにより、生徒が、衣装や振り付けなど、曲に合わせた演出を考え、楽しい演奏を披露するなど、合唱の技術のみならず、生徒自ら考え、発信しようとする精神面での成長が見られた。

<顧問の負担感軽減等>

- ・専門的な知識と指導力のある外部指導者がいることで、顧問の心の負担軽減がとても大きかった。顧問自身も講師先生による生徒への指導を「見て」「学ぶ」ことができるので、顧問による平日放課後日々の指導につながった。
- ・休日は、地域部活動の指導者として携わっているが、複数の指導者がいることで、各パートの指導ができて良い。3人で1体の人形を遣うので、3人の指導者が生徒一人ずつを同時に指導することができ、顧問の負担軽減になった。
- ・三味線は教えることができないので、師匠に御指導いただけることは大変有り難い。
- ・日頃の練習は、複数の顧問で指導にあたっているが、地域部活動を実施することにより、ローテーションを組んで、休日に充てることができた。顧問の時間的な負担が軽減された。
- ・生徒自らが目標を持ち、継続的な練習メニューに基づいて活動することから、平日の放課後練習において、音楽経験のない顧問の精神的負担が大きく軽減した。

<生徒へのヒアリング>

- ・中学校1年生から初めて楽器を始めた。丁寧に教えてくださるので、とてもわかりやすい。
- ・部活動することにやりがいを感じている。とても楽しい。
- ・三味線に興味があり、楽しく学んでいる。弾けるようになりたい。
- ・家族も応援してくれている。
- ・1年生がたくさん入部し、夏休みを中心に練習を重ねる中で、部活動に活気がでて、発表会等で一緒に演目を演じられることはうれしい。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・中学生の段階に応じた指導をしている。常に、少し上のレベルに目標を置き、生徒の力を引き出せるように指導し、全体が伸びていくよう工夫している。
- ・人形浄瑠璃に親しみをもって楽しんでほしい。「1体の人形を3人で遣う気持ち」をそろえることを大切に指導している。公演がうまくいった時の満足感、爽快感を味わってほしい、小学生や大人も参加して、少しずつ輪を広げていきたいと思い指導している。
- ・部員が少人数であることから、個人指導を取り入れて、一人ひとりの歌唱力を強化すること、また、互いに聴き合う力、考える力を鍛え、きめ細やかなアンサンブルを実現できるようにしようという方針のもと、実施した。
- ・歌をずっと好きでいてほしいという思いで指導を行っている。生徒自身が自発的に考え、生徒が互いに話し合う中で歌をつくりあげていくような指導を心がけている。また、一人ずつ発声を見るなど個に応じた技術指導を充実させるとともに、生徒理解に努め、グッズを活用した指導など工夫しながら、講師自身も楽しい有意義な学びの時間となった。

○運営上の工夫

- 学校の部活動スケジュールに合わせて実施
- 感染防止対策徹底とともに、講師招聘自粛等、学校の方針に従い実施
- 市、学校策定の「文化部活動に係る活動方針」に則り実施
- 大会や発表の場を目標として、集中的に活動を実施

(オーケストラ部)

指導者は、指導経験が豊富で、中学生の段階で、身に付けてほしい技術・知識や楽器の特性等を考慮し、音楽に親しみが持てるよう指導を行っている。また、先生方の質問や相談にも応じ、指導者の育成につなげている。

(民芸部)

県民文化祭等、発表の場を目標として指導期間を集中することで、新たな演目に挑戦したり、秋には新入部員が演目を披露したりすることができた。また、専門施設の展示や映像を活用し、人形浄瑠璃の歴史や徳島の風土・産業と芸能の関わりなどについても学習させることができた。

活動場所が生徒が自転車で移動できる校区内の専門施設であり、施設の舞台装置や人形を利用することが容易である。また、観光施設でもあることから、来館者に練習風景を見てもらうことができた。

(音楽部)

普段の放課後練習においても、部員たちが、部長を中心に自主的、継続的な練習ができるように、歌うための体づくり(ストレッチや体操)、発声練習のメニューを作成するなどした。毎日の放課後練習においても、部員は目的と目標を持って取り組み、モチベーションが高まった。

○継続的な運営に関する課題

- ①指導者の確保(文化芸術団体が少ないこと)
- ②活動場所の確保(活動場所が学校施設の場合、施設等施設管理する学校関係者、または管理者が必要)
- ③講師謝金等の費用確保
- ④学校と指導者との緊密な連絡調整や情報共有
 - ・生徒の体調管理や生徒指導面の配慮、保護者との連絡
 - ・学校とのスケジュール調整(学校行事やテスト休み等)
- ⑤部活動の在り方に対する教員や保護者の意識改革
- ⑥大会やコンクールの在り方の検討

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

●令和5年度も令和4年度に引き続き、運動部活動の所管課と連携し、「徳島県部活動の地域移行推進協議会(仮称)」を年3回程度開催する予定。

・市町村教育委員会、文化芸術団体からなる「文化部活動の地域移行推進協議会」を令和4年10月に立ち上げ、11月開催の「第1回徳島県文化部活動の地域移行推進協議会」では、「R3地域部活動推進事業の取組」について報告するとともに、意見交換を行った。

・令和5年2月に開催した「第3回徳島県運動部活動の地域移行推進協議会・第2回徳島県文化部活動の地域移行推進協議会」において、「R4地域部活動推進事業の取組」を報告した。また、「徳島県における中学校の部活動の地域移行に向けての手引き(案)」について検討した。

・令和5年3月に、委員の意見を反映した「徳島県における中学校の部活動の地域移行に向けての手引き」を策定(予定)。

●「徳島県における中学校の部活動の地域移行に向けての手引き」について

・少子化が進む中においても、将来にわたり、生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するとともに、学校の働き方改革を推進することを目的として、本県における休日の中学校の部活動の地域移行を円滑に進めていくために策定

・手引きの内容は、令和4年12月に国が公表した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に沿って、令和5年度から令和7年度末までの3年間で「改革推進期間」とし、県内の市町村において地域移行の取組が円滑に進むよう手順を示すもの(具体的な内容としては、①部活動の地域移行に向けて②「地域クラブ活動」制度設計の手順③説明・周知④生徒への募集案内⑤教師等の兼職兼業⑥ハラスメント等の根絶)

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	徳島市徳島中学校(オーケストラ部)50名、徳島市川内中学校(民芸部)17名、徳島市応神中学校(音楽部)12名
	募集方法	4月に学校で部活動紹介や体験部活動を行い募集
指導者	人数等	徳島交響楽団ジュニアオーケストラ2名、NPO法人阿波農村舞台の会5名、徳島県合唱連盟1名
	募集方法	徳島交響楽団ジュニアオーケストラ、NPO法人阿波農村舞台の会、徳島県合唱連盟から講師を派遣
参加者の移動手段		徳島市川内中学校(民芸部)自転車
活動費用	指導者謝金等	指導・実技・実習等謝金 上限5,100円/時間
	その他	
活動財源	会費	本事業については、保護者負担なし
	その他	事務局委託費695,000円
スケジュール	基本活動	月1～4回程度(学校の部活動スケジュールによる) 1回2、3時間程度
	年間	土日、夏期休業日を中心に15回～20回程度
保険加入等		スポーツ安全保険(対象人数82人、保護者負担無、800円/年)

【活動の様子 (写真添付)】



オーケストラ部



民芸部



音楽部